

平成30年3月

逗子市教育委員会定例会

平成30年3月16日

逗子市教育委員会

会 議 録

平成30年3月16日逗子市教育委員会3月定例会を逗子市役所5階第3会議室に招集した。

◎ 出席者

教 育 長	村 松 雅
教育長職務代理者	横 地 みどり
教 育 委 員	塚 越 暁
教 育 委 員	村 上 朝 鼓
教 育 委 員	星 山 麻 木
教 育 部 長	石 黒 康 夫
教 育 部 次 長	村 松 隆
教育総務課長事務取扱	
学 校 教 育 課 長	川 名 裕
学校教育課担当課長	小 野 憲
社 会 教 育 課 長	橋 本 直 樹
図 書 館 長	安 田 清 高
図書館担当課長	鈴 木 幸 子
市 民 協 働 部 長	若 菜 克 己
療育教育総合センター長	早 川 伸 之
療育教育総合センター主幹	河 原 林 薫
兼 学 校 教 育 課 主 幹	
教 育 部 担 当 部 長	山 田 隆
(子育て担当)	
教 育 部 次 長	
(子育て担当)	高 橋 佳 代
子育て支援課長事務取扱	
子育て支援課担当課長	
(子育て支援担当)	中 村 妙 子

保 育 課 長 杉 山 正 彦
文化スポーツ課担当課長 翁 川 昭 洋

事務局

教育総務課副主幹 坂 本 周 史
教育総務課主事 吉 井 まどか

◎ 開会時刻 午後 3 時 0 0 分

◎ 閉会時刻 午後 4 時 0 0 分

◎ 会議録署名委員決定 星山委員、塚越委員

○村松教育長

会議に先立ち、傍聴の皆様をお願いいたします。傍聴に際しては、入口に掲示されております注意事項をお守りくださるようお願いいたします。なお、報道関係者以外の録音、写真撮影につきましては、許可しておりませんので、御了承ください。また、教育委員会の議決により、秘密会にすべき事項と思われる案件が出されたときには、退場いただく場合がありますので、御了承ください。

○村松教育長

定足数に達しておりますので、ただいまから平成30年逗子市教育委員会3月定例会を開会いたします。

それでは会議に入ります。本日の会議日程はお手元に配付したとおりでございます。

会議規則により、本日の会議録署名委員は星山委員、塚越委員をお願いいたします。

これより会議日程に入ります。

初めに、本日の審査順序を決めたいと思います。本日の案件のうち、日程第3「報告第6号」は、県費負担教職員の人事を取り扱う案件のため、秘密会を予定していますので、他の日程を先に行い、最後に報告第6号の審議を行いたいと思います。

お諮りいたします。本日の審議は日程第2の次に日程第4、日程第5及び日程第6を行い、最後に日程第3の順序で行いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声多数)

御異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

◎日程第1「1月定例会会議録の承認について」

○村松教育長

日程第1「1月定例会会議録の承認について」を議題といたします。

委員にはお手元の会議録をごらんいただくようお願いいたします。

会議録について御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

御異議がないようですので、1月定例会会議録は承認いたします。

村上委員、塚越委員は会議録に御署名ください。

◎日程第2「教育長報告事項について」

○村松教育長

日程第2「教育長報告事項について」を議題といたします。

○石黒教育部長

教育委員会平成30年2月定例会で御報告しました以降の平成30年逗子市議会第1回定例会の概要について御報告をいたします。

3月1日、本会議が開催され、まず初めに会期延長が諮られ、会期を6日間延長し、3月7日までとすることに決まりました。

続いて議案の表決が行われ、逗子市非常勤特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正及び逗子市職員給与条例の一部改正は全会一致で、平成30年度逗子市一般会計予算及び4特別会計は賛成多数で可決されました。また、他の議案も全て可決されました。その後、議員提出議案第2号逗子市都市公園条例の一部改正についてが総務常任委員会に付託されました。続いて意見書案が提案され、国に私学助成の拡充を求める意見書及び神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書は賛成多数で原案が可決、家庭教育支援法の制定を求める意見書は賛成少数で否決されました。その他意見書の表決、陳情審査結果及び交通整理員廃止に関する陳情の取り下げの報告が行われ、本会議は終了いたしました。午後からは総務常任委員会が開かれ、都市公園条例の一部改正については賛成多数で可決されました。7日に全員協議会が開催され、市長報告があり、その後、本会議が開催され、都市公園条例の一部改正については表決の結果、賛成多数で可決され、平成30年市議会第1回定例会は閉会となりました。以上でございます。

○村松教育長

本件について御質疑、御意見はありませんか。

御質疑、御意見がないようですので、教育長報告事項についてを終わります。

◎日程第4「議案第2号逗子市文化財保護委員の任命について」

○村松教育長

日程第4「議案第2号逗子市文化財保護委員の任命について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

○橋本社会教育課長

それでは、日程第4議案第2号逗子市文化財保護委員会委員の任命について御説明申し上げ

げます。

本年3月31日をもちまして任期満了になります逗子市文化財保護委員会委員について、逗子市文化財保護条例第11条第3項に基づきまして提案させていただくものでございます。

なお、委員候補者の名簿のうち、全員が再任となります。よろしくお願いいたします。

○村松教育長

本件について御質疑、御意見はありませんか。

(「なし」の声あり)

御質疑、御意見がないようですので、これより表決に入ります。議案第2号については可決することよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

御異議がないようですので、議案第2号については可決することに決定いたしました。

◎日程第5「議案第3号第二次逗子市子どもの読書活動推進計画策定について」

○村松教育長

日程第5「議案第3号第二次逗子市子どもの読書活動推進計画策定について」を議題といたします。

事務局より説明をお願いいたします。

○安田図書館長

議案第3号第二次逗子市子どもの読書活動推進計画策定につきまして御説明申し上げます。

お手元にあります第二次逗子市子どもの読書活動推進計画最終案を配付させていただきましたが、この内容で平成30年度から実施をしたいということで御提案をさせていただきます。計画の中身につきましては、平成29年11月の教育委員会定例会で第二次逗子市子どもの読書活動推進計画(案)として内容を説明させていただきました。また、平成29年12月1日(金曜日)から平成30年1月7日(日曜日)までの間、パブリックコメントを行いまして、4名の方から8項目の御意見がございました。このうち既に趣旨や考え方が計画に盛り込まれているものが4件、意見を参考とするものが4件で、その結果、計画修正には及びませんでした。

以上で説明を終わります。

○村松教育長

本件について御質疑、御意見はありませんか。

○塚越委員

こちら、計画として今回形になったとすると、向こう5年間のこの計画の進捗の確認だったり、目標達成度合いがどのようなものかといったことの確認など、計画自体がどのように管理されていくかということをお教えいただきたいです。

○村松教育長

進行管理ですね。

○安田図書館長

これに関しましては、計画として各部局に対して毎年進行の結果を報告していただきます。その結果につきましては、毎年度図書館協議会に諮り、評価等を得ます。また5年間の評価を行い、第三次の計画策定を進めていきたいと思っております。

○村松教育長

他に御意見、御質疑等はありませんか。

では、御質疑、御意見がないようですので、これより表決に入ります。議案第3号については、可決することよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

御異議ないようですので、議案第3号については可決することに決定いたしました。

◎日程第6「その他」

○村松教育長

日程第6「その他」を議題といたします。

その他議事としてありますか。

○川名学校教育課長

それでは、逗子市中学校給食に関する報告について御説明申し上げます。お手元の報告書をごらんください。

平成26年10月から開始しました中学校給食について、平成29年度に4年半の調理業務委託の中間年を迎えました。これまでの調理業務委託の実施状況について、平成29年6月より開催しました逗子市立中学校給食中間報告に向けての検討委員会において改善案が提出されました。村上委員におかれましては、検討委員として御協力いただきまして、まことにありがとうございました。本報告書は、検討委員会の改善案を受け、これまでの調理業務を中心とした課題及び改善点を報告させていただくものです。

2ページをごらんください。現在までの中学校給食における改善点をまとめさせていただきました。開始当初は厨房も慣れないこともあり、味つけや容器など、実施してわかったことがありました。

続いて、3ページから4ページをごらんください。安全面においては、放射能検査結果のお知らせや、瓦版の配布による情報提供を家庭に向けて発信いたしました。生徒に向けては食育授業を実施することで、給食はおなかを満たすことだけでなく、食育という授業の一環であること、中学生にとっての食事の重要性などを伝えてまいりました。時にはリクエスト献立として、生徒からの要望を取り入れたメニューも提供してまいりました。

続いて6ページをごらんください。厨房内での衛生管理についても、異物混入を中心に事故を未然に防ぐための衛生管理を強化してまいりました。

続いて7ページをごらんください。試食会については、在校生や新入生にとどまらず、PTAや小学校教員向け、さらに地域の皆さんに広く中学校給食を知っていただく機会を設けました。小学校教員に向けての試食会は、6年生担当の教員を中心に行いました。小学校において中学校給食の話をしてもらうことで、児童の不安解消にお手伝いいただきました。

続いて8ページをごらんください。今後の中学校給食についてまとめさせていただきました。栄養バランスについては、食育の授業の中で伝えている内容です。「ま・ご・わ・や・さ・し・い・こ」については、不足しがちな食材の頭文字で、逗子市の中学校給食の柱としています。「ま」は豆、「ご」はゴマ、「わ」はワカメ、海草、「や」は野菜、「さ」は魚、「し」はシイタケ、きのこ類、「い」はイモ、「こ」は穀類となっています。この8品目を意識して提供してまいります。

続いて9ページをごらんください。給食提供におけるアレルギー対応については、会議の実施や安全な提供ルート確保などに向けての準備を進めてまいります。食材についてもJAよこすか葉山からの地場産物や、小坪漁港からのアカモクを初め、シラスやワカメ、ヒジキ等の提供など、今まで以上に地域に密着した食材確保に努めてまいります。

最後に、来年度はプロポーザルの実施など、2期目の準備が始まります。この報告書の内容をもとに、2期目がさらによいものになるように努めてまいります。

以上報告させていただきます。

○村松教育長

ありがとうございました。では、本件について御質疑、御意見はありませんか。

○村上委員

私、この検討委員会のほうに参加させていただきました。中学校の給食については、娘が食べていたときに試食をさせていただいたり、以前教育委員の勉強会のときに全員で試食をさせていただいて、話を伺う機会がありましたけれども、今回その委員会に参加し、改めて栄養士さんの熱い思いというものを感ずることができました。子どもの好きなメニューだけ並べるのはとても簡単なことなのだけれども、子どもが口にすることがないことであつたりとか、食の豊かな食体験という、食育の視点でこの給食がつくられているということは、なかなか他市と比べてもとてもないことで、貴重なことだと思いますし、改めてすばらしい取り組みだということに感じました。また、それを取り巻く皆さんの思いも、保護者の方や実際に食べる子どもたちに伝わればいいなというふうに思っております。

実際にいただいたときには、本当に思ったよりも温かく、汁物なんか本当にふたをあけると湯気が立つような形で、すごくおいしく、本当におかわりをしたいくらい、おいしくいただきました。ぜひこの豊かな食体験という給食が続くことを願っています。ありがとうございました。参加させていただきました。

○村松教育長

ありがとうございました。他に御意見、御質問はありますか。

○星山委員

とても中学生の給食ということで、いろいろ賛否両論いろいろあるかなというところで、こういう取り組み、とてもすばらしいかなと思うのですが、アンケートのところで、女子は特に学年が上がるにつれて、割と残す人が多いのですかね。いろいろ理由のところなどが、もう少し、どうして食べないのかとか、どうして食べたくないのかというあたりがわかると、また今後の計画で生かせるのかなと思うのですが、もしそういうところがありましたら、教えていただければと思います。

○川名学校教育課長

今の学年が上がるにつれてというお話がありましたけれども、これは生徒に直接聞いていただしてみたわけではないのですが、もしかすると思春期のお年頃というところで、若干そういった部分を気にしてのという要素があるかもしれません。

○星山委員

何か学年で傾向がもしあるとすれば、ちょっとその理由のところは聞いてみると、せつかなので、みんなおいしいと思って食べてもらえるといいかなと思いました。

あともう一つ、ちょっと他市の例で恐縮なんですけど、自分で献立を考えて、コンクール

みたいな感じで自分のメニューが出てくると、中学生ってすごく食べたいくなるというようなことを聞いたことがあります。また今後もし安定してきた段階で、メニューを自分で考えたりすると、中学生とかはもっと食べたいと思ってくれるかもしれないなと思いましたので、御検討いただければありがたいです。以上です。

○村松教育長

5ページのところの家庭科の授業や生徒からの手紙によるリクエストを給食で実施したところの何かもうちょっとイメージが湧くことはありませんか。

○川名学校教育課長

今の星山委員から御指摘ありましたコンクールというお話ありましたが、授業の中で実際に子どもたちが献立を考えてという授業も行っております。その中で、学校教育課のほうで採用した献立を使って調理ということで、実際に提供したこともございます。

○星山委員

すごくいいと思います。ありがとうございます。

○村松教育長

リクエストですね。また、子どもたちが選ぶとかね、そういうステップが入ってくると、より身近になるかなということで、工夫をしていただければと思います。

他に御質疑、御意見はありませんか。

○塚越委員

今の星山委員の質問を聞いて、この後半のアンケートを拝見しているのですが、非常にわかりやすいというか、いろいろな傾向が出てくるなと思うのですが、こうしたアンケートを定点で見るといって、今回新しい取り組みを入れるとすると、それによってその後どう変わったかみたいなことをモニタリングしていくことが非常に有効かなと思います。今回中間報告ということですが、この先こういった給食の改善について、神奈川県も含めてこういった形で進めていくかということをお教えいただければありがたい。

○村松教育長

今後について、いかがですか。

○川名学校教育課長

引き続き子どもたちにもアンケートは定期的には実施していきますし、試食会の際には保護者、地域の方からもアンケートの形で御意見をちょうだいしたいと考えております。

○塚越委員

当初と違って、学校給食はおいしいとか、評判がよくなっていること、すごく肌感覚では聞きますので、ぜひこういった定量的な形でも、そういった変化が客観的に見られるような形になると、保護者の理解もどんどん進んでいくと思いますので、よろしく願いいたします。

○横地委員

アンケートの27ページのところなんかを見ると、この給食をしたことによって、クの給食でよいことというところで、栄養バランス、安全、温度という、地場産とかというのがトップ3ぐらいに並んでいるのが見えてきたということは、家庭科でこういう食育を行うことより、この給食を通して食育のねらいみたいのを獲得できているというのが、まさに見えて、ここまでの効果を期待していたのかどうか、ちょっとわからないのですが、残すけどこういうことが大切なんだというのは、中学生の中に入っているのかなというのをちょっと、ここから私は感じました。また、こういうところで意識して自分たちが食は大切なんだというところを理解して、大人になるとすごく食を意識して、無添加のものを食べるとか、自然のものを食べるという方が多いので、多分その素地になるものがこの中学、小・中のところで培われているのかなというふうに思いました。

○村松教育長

ありがとうございました。アンケートで初めてわかることというのも多いと思いますし、それから食べる、食べないは味以外のいろいろなクラスの雰囲気とか、思春期の問題とかというのもあると思います。そういうのも含めて、最終的には食べてもらう、子どもたちが好むようなことを今後もやっていくということで。よろしいでしょうか。

他に御質疑、御意見はありませんか。よろしいですか。ないようですので、逗子市中学校給食に関する報告書について終わります。

その他、何かありますか。

○川名学校教育課長

続きまして、市内小・中学校の様子を今回も各学校の校長・教頭からの報告をもとにお伝えしたいと思います。

気温の上昇とともに、これまでのインフルエンザの猛威は影をひそめまして、前回の定例教育委員会、2月23日以降本日まで、インフルエンザによる学級閉鎖は小学校2校の計3クラスという状況でございます。小学校では、3月20日の卒業式を控えて、6年生を送る会が各校で行われております。どの学校でも各学年の児童より、お世話になった最上級生への感

謝の気持ちを込めたメッセージや出し物があり、子どもたちの熱い思いが結集して、充実した心温まる会を持つことができたとのことです。この6年生を送る会は、それぞれの学年の児童が自分たちのこの1年間における成長の軌跡を他の学年や教職員にアピールする場だということで実施してきました。各学年のオリジナリティーやエネルギー、そして何よりも一生懸命さを子どもたちの出し物に思いを込めて発表してくれました。子どもたちの頑張りに対する御褒美にと、教職員のディスコダンスが披露されて、子どもたちは大喜びでした。上級生を見本にして成長していこうとする異年齢のかかわりという、よい形の学校文化を実感することができました。という校長先生のコメントがありました。

続いて、卒業式に向けての取り組みの様子です。3月に入ってから卒業式の取り組みが始まり、式当日に参加できない中学年・低学年の児童は、主に体育館の壁面飾りの作成に、5年生は式次第の中で行う呼びかけや合唱の練習を行っています。卒業式が6年生のためだけのものではなく、各学年がそれぞれの形でつながった学習活動が行われております。特に6年生においては、事前指導にて卒業式は最後の授業であるということ、自分たちが学び合いを大切にして身につけてきた学習成果を、これまで育ててくれた保護者の皆様や地域の皆様、そしてバトンを手渡す在校生並びに教職員の私たちに、自分たちの思い入れを発表する場であるということを学年担当教員から事前指導を丁寧を受けて臨んでいます。とのことです。

次に、通級指導教室設置校の校長先生からの報告です。通級指導教室での指導場面には、時に学級担任を含めた参観を続けて、校長は指導室の外からの参観を続けてきました。通級の児童は、この取り組みを励みにしてくれていました。他校からの通級児童には、担当者に任せきりのために、登・下校時には必ず挨拶の声をかけてくれるように依頼してあります。日ごろは扉を開放している校長室ですが、接客時に扉が閉まっても、必ず開けて挨拶をするのを守ってくれています。この時期になると、一定の成果を上げて、通級指導修了の児童が出てまいります。2年間お世話になりましたという、実に立派で丁寧な挨拶をするために立ち寄ってくれる場面があり、指導者の連携の成果として在籍校の教頭先生にその児童の成長の軌跡を報告し、学級担任の方に労をねぎらう連絡をしてきました。通級指導教室は本校に欠かせない大切な施設です。今後さらなる有効活用が果たせる工夫について、担当者とともに中長期的な視点をもって企画しているところです。とのことです。

続いて中学校です。先週の3月9日には中学校の卒業証書授与式が行われました。朝方は暴風雨が吹き荒れ、どうなることかと思いましたが、例年よりも気温も高く、教育委員を初めたくさんの方の来賓の方にお越しいただき、卒業生、在校生、そして御家族、地域の方、御来

賓、御出席の全ての方々の思いの詰まった、すばらしい門出の式を行うことができました。週明けの月曜日には、卒業式の片づけを終えた後、朝会を持ちました。朝会の前段に行われた生徒会代表の話では、在校生が本当にまとまって3年生を送る会から卒業式まで頑張ってくれたことの感謝の言葉が述べられました。「しっかり伝統を受け継いで頑張っていきましょう」という言葉で結ばれた、すばらしい朝会となりました。卒業式が終わり、教職員は次年度に向けての準備も大詰めを迎えています。間もなく新年度が始まります。卒業生からたすきを引き継いだ2年生、1年生と、間もなく入学してくる新入生を新体制にてどのように導いていくのか、気の引き締まる思いですと、校長先生のコメントがありました。

続いて、校長先生から学校関係者評価委員会及び学校評議員会にて次のような御意見をいただきましたことの報告がありました。生徒が落ち着いて活動できている体制ができ、学校の中に安心感が漂っている。今後は特に生徒側から見たアンケートの徒の意見をリサーチし、有効活用等に心がけ、その結果を加味した、さらに一歩入り込んだ取り組みに期待したい。支援が必要な生徒に対しての支援計画や、学校の体制がわかりやすく、組織としての学校の様子が伝わってきている。手厚い支援に感謝します。学校側の安全・安心に向けた取り組みの成果が、生徒の立ち居振る舞いに出ていることを実感している。今後は学校のニーズと地域のニーズを再確認し、新たな活動スタイルを構築していただきたい。委託研究発表の資料を拝見した。すばらしい整理がされており、先生方が工夫され、自分の教科のみならず、教科間で連携した工夫改善が見られることは、大変すばらしいことである。生徒に役割とその出番を与え、互いに評価し合うことの大切さを実感した。今後も地域の中での学校としての役割を発揮していただきたい。PTA役員を経験する中、保護者、地域の方々が学校からの情報を欲しがっていることがわかった。今後も積極的な情報発信をお願いしたいとのことでした。

以上、簡単ですが、市内小・中学校の報告とさせていただきます。

○村松教育長

ありがとうございました。最近の様子ということでしたが、これについて御質疑、御意見はありますか。

○塚越委員

報告で、中学校の卒業式の話がありましたけれども、私は逗子中の卒業式に村上委員と一緒に出てきましたので、ちょっとその感想を御伝達させていただければなと思います。お話の中にもありましたけれども、非常に印象的だったのが、卒業生の皆さんの歌だったり、証

書の授与の姿だったりがすばらしかったのは言うまでもないのですが、非常に印象的だったのが在校生の皆さんが送り出すということで、結構な長い時間の式典の間、非常にぴちっとして、乱れることなく、気持ちを込めて送り出しているさまが伝わってきたのは印象的でした。その中でも、在校生からの送る送別の歌、中学校の1、2年生、合唱というのはなかなか、自分の感覚からすると難しいというか、特に自分が卒業するのではないと、それほど気持ちを込めて歌えないものではないかなというふうに思っていたのですが、聞いている私たちのほうが感動するような歌を在校生が、1、2年生全員で歌っていたのが非常にすばらしく感じまして、伝統を受け継ぐということが先ほどありましたけれども、3年生のきちっとした姿がいい形で在校生に受け継がれているなということを感じ、すばらしい式典でした。以上です。

○村松教育長

ありがとうございました。他に。

○横地委員

久木中学校のほうに私は行かせていただきました。在校生の態度や、卒業生の態度、多少気が緩んでいる場面もありましたけれども、前向きにこの卒業式を迎えているのだなというところを感じました。人間味が忍ばれるような校長先生のお話があったりとか、私も告示を読まさせていただいたのですけれども、聞く耳を持っている中学生だなというふうに、ちょっと肌で感じたものがありました。地域の方、あと小学校の先生とかもいらして、みんなで支えている卒業式だったなというふうに感じることができました。ありがとうございました。

○村松教育長

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

○村上委員

私も塚越委員と逗子中学校の卒業式に出席させていただきました。地域の方も多く参加されていて、本当に支えていただいているのだなという感謝の気持ちを持ちました。また、先生と子どもの信頼関係が強くできているのだなという雰囲気を感じた厳粛な卒業式だったと思います。特に校長先生のお話を聞くときの3年生の視線が、きちんともう先生に向かって一つ一つの言葉をうなずきながら聞いて、涙を見せている子どももいたので、本当に校長先生という大きな立場でいらっしゃいますけれども、子どもたち一人ひとりとかかわりを持たれていたのだなということを感じました。

合唱もすばらしくて、先ほどおっしゃったように、1、2年生の合唱も、驚いたのが男子

の声がとても大きくて、なかなか女子は頑張っても男子がというのが今まで自分の子どものときもそういう場面もありましたけれども、男子がすごくさわやかに歌っていたのが印象的でした。また3月20日（火曜日）に小学校の卒業式もありますけれども、とても楽しみにしています。

○村松教育長

ありがとうございました。私も沼間中学校へ行きましたけれども、同じように緊張した中にも先生の言葉や私たちの言葉もうなずいて聞いてくれたというところで、多分子どもたちは自分たちがその後に歌を歌うとか、いろいろなことを頭の中で考えながら聞いてはいると思うのですが、そういう中でもしっかりと一言一言受け取っている感じがありました。特に今回の「君たちはどう生きるか」というのは、ちょうどその日の夕方テレビでも話題になっていて、子どもたちも題名を言った段階で、読んだよというような表情を私たちのほうにも投げかけてくれていたので、話もそういう意味ではしやすかったのですが、一つの印象に残った節目になったかなと。教育には節目が必要ですし、その節目をどうやって生かすかというのは、儀式的行事をつくり上げていく生徒たちと先生方との一緒につくり上げていく、その節目を生かすという考え方があると思いますので、3校ともすばらしい卒業式で、多分小学校もそれなりの式になることを私たちも楽しみにしています。

他にいかがでしょうか。

○横地委員

今のお話の中でちょっと感じたのですけれども、通級教室とか、他校であっても指導者との連携がうまくできているということで、これからも有効的に使っていきたいというところですが、指導者との連携、校内であったり他校であったりというところで、先月ちょっとニュースに話題になったのですけれども、茅ヶ崎のほうでいじめの問題があって、このニュースの見出しだけなので、本当の内容は私もよくわからないのですけれども、見て見ぬ振りをしていたというような見出しがあって、多分そこで私が感じたのは、先生同士の連携、学校での体制をどうなっていたのかなというのが一番の疑問でした。いま一度、逗子ではその体制づくりはできていると思いますが、一度御説明をしていただければありがたいなと思いついて、ちょっと時期がずれたのですけれども、もしわかれば言っていただければと思います。

○村松教育長

学校として、ここで説明していただいてよろしいですか。

○横地委員

そうですね、でも来月でも構いません。

○小野学校教育担当課長

体制ということによろしいですか。体制というよりは、今、法律が26年に施行されてから各学校に、学校いじめ防止基本方針というのがつくるようになっておまして、この4月に必ず毎年見直しを学校がして、それをもとに学校で対応しているという流れができ上がったようです。それに合わせて、各学校、子どもたちの実態に合わせて基本方針に従って出てきた事案、それから未然防止も含めて対応しているというところですよ。

簡単ですけども、以上です。

○横地委員

やはり、いじめとか、学級内での問題とかは連携がとても大切だと思うので、その辺のところをよろしく願いますというお願いです。ありがとうございました。

○村松教育長

学校によっては、その方針を各クラスでとどめることなく、学年それから教育相談コーディネーターとの意見交換の場も設けていますし、保護者にも早めに情報提供しながら、保護者の協力も積極的に連携しているという事例も聞いていますので、どんなことであっても、特定の教員が使えるとか、対応するとかということにならないようにする。これからも引き続き取り組んでいきたいというふうに思っています。

その他何かありませんか。事務局からその他はよろしいですか。

○村松教育部次長

事務局からは以上でございます。

○村松教育長

それでは、委員の皆様からその他議事としては何かありますか。

○横地委員

ちょっと突然なのですがですけども、前もお話したと思うのですがですけども、教育委員会に保育課とか子育て支援課が入って、約1年ぐらいたって、連携というか、同じフロアになってどういうところがよかったとか、何か変わったとかというのがもしあったら、今回でなくて、4月でもいいのですがですけども、御意見というか、お話しがいただけたらと思います。

あとは、多分これは保育課とかではお話しができると思うのですがですけども、保育・教育の質の向上の今やっていることとか、あとは待機児なんか、ここで話すべきなのか、ちょっとわからないのですがですけども、その様子もしわかれば、お話しいただければと思います。

○村松教育長

ある程度、データの必要なものもあるかと思しますので、1年間全部一緒にして、4月の段階でこのコーナーでの話題にさせていただくということによろしいですかね。少しそこは意識させていただいて、ちょうど初年度が終わった段階でどんな効果があったかというのは、また集約をしていきたい、報告をしたいと思えます。

他によろしいですか。

○塚越委員

ぜひ今のお話とあわせてなのですが、スマイルスクールがその後どうなっているかみたいなどころも、期が締まったところでお聞かせ、あわせて来月いただければありがたいです。

○村松教育長

これも実績ということで。お願いいたします。

では、ないようですので、以上でその他について終わります。

次回の定例会についてですが、4月12日（木曜日）午後3時からを予定しておりますが、決定については改めて委員に御通知いたします。

それでは、日程第3「報告第6号県費負担教職員の任免の内申について」を議題といたします。

お諮りいたします。本件については人事に関する情報を取り扱うため、秘密会にしたいと思えますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声多数）

御異議なしと認め、秘密会といたします。よって、傍聴されております皆様及び本件に係る職員以外の方は退席をお願いいたしますので、暫時休憩をいたします。

（ 休 憩 ）

（ 再 開 ）

○村松教育長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。これをもちまして教育委員会3月定例会を終了いたします。ありがとうございました。